

〈簡易検索画面〉



独立70周年記念事業

練馬区歴史資料デジタルアーカイブ

練馬区独立70周年

トップページへもどる

更新日：2017/07/26 件数：6,130件 TOP



より詳細な条件で探す

リンク

詳細検索画面に遷移します。

練馬区立図書館
NERIMA CITY PUBLIC LIBRARY

真井図書館
和装本

稻荷山図書館
デジタルアーカイブ

こちらのページでは、キーワードから「練馬区史」本文が検索できます。下の検索ボックスに、検索したいキーワードを入力してください。

- ◆トップページへ戻るには[こちら](#)
- ◆もっと詳しい検索をしたい場合は[こちら](#)
- ◆その他の詳しい使い方は[こちら](#)



本文等からテキスト検索できます。調べたいキーワードを検索窓に入力し「検索」ボタンをクリックしてください。

練馬大根

検索

クリア

資料種別 図表 年表 本文

練馬区独立十周年記念「練馬区史」

(昭和32年刊行)

> 本を眺む

> テキストで見る

練馬区独立三十周年記念「練馬区史(歴史編)」

(昭和57年刊行)

> 本を眺む

> テキストで見る

練馬区独立三十周年記念「練馬区史(現勢編)」

(昭和56年刊行)

> 本を眺む

> テキストで見る

練馬区独立三十周年記念「練馬区史(現勢資料編)」

(昭和55年刊行)

> 本を眺む

> テキストで見る

〈詳細検索画面〉



独立70周年記念事業
練馬区歴史資料デジタルアーカイブ

練馬区独立70周年

トップページへもどる

更新日：2017/07/26 件数：6,130件 TOP

簡易検索へ

リンク

- 練馬区 Nerima City Office
- 練馬区立図書館 NERIMA CITY PUBLIC LIBRARY
- 真井図書館 和装本
- 稻荷山図書館 デジタルアーカイブ

詳細な条件を指定して検索できます。

本文テキスト ▼ AND ▼

本文テキスト ▼ AND ▼

本文テキスト ▼

指定なし
練馬区独立三十周年記念「練馬区史（歴史編）」（昭和57年刊行）
練馬区独立三十周年記念「練馬区史（現勢編）」（昭和56年刊行）
練馬区独立三十周年記念「練馬区史（現勢資料編）」（昭和55年刊行）
練馬区独立十周年記念「練馬区史」（昭和32年刊行）

タイトル

資料種別 図表 年表 本文

表示件数 50 ▼

検索 クリア

こちらの画面では、より詳細な検索が可能です。

= 検索式について =

キーワード検索では、以下のような検索ができます。右端のプルダウンの中から選択してください。

1. AND検索

複数のキーワードを全て含むものを検索します。

例) 「グラントハイツ」と「光が丘」の両方の単語を含む

2. OR検索

複数のキーワードのうち、どれか一つでも含むものを全て検索します。

例) 「グラントハイツ」または「光が丘」の両方またはどちらか一つでも含むもの全て

3. NOT検索

複数のキーワードのうち、除外するものを指定できます。

例) 「グラントハイツ」を含むもののうち、「光が丘」を含むものを除外する

= その他の検索項目について =

- プルダウン…「すべての項目」「目次」「本文テキスト」から検索したい項目を指定できます。
- タイトル…検索したいタイトルを指定できます。
- 資料種別…「図表」「年表」「本文」から、検索したい項目を指定できます。
- 表示件数…検索結果の表示件数を指定できます。

〈検索結果一覧画面A〉

表示方法を切り替えられます。
(→検索結果一覧画面Bへ)

みどりの風吹くまち 練馬区独立70周年記念事業
練馬区歴史資料デジタルアーカイブ

練馬区独立70周年
トップページへもどく

更新日：2017/07/25 件数：6,130件 TOP

一覧 ◀ ▶ 1/2 表示：50 表示順：昇順 指定なし 戻る 検索画面

78件ヒットしました (1 - 50) 絞り込み検索 検索条件 本文テキスト (練馬大根)

No.	タイトル	目次	本文テキスト
1	練馬区独立十周年記念「練馬区史」(昭和32年刊行)	目次 (18頁)	...一四六七中村良弁塚一四七三石製造立物一四七九区内指定文化財一四九七第五編補説練馬大根の歴史一五〇一千川上水の歴史一五一練馬の道一五四〇付表および地図練馬区新旧地名...
2	練馬区独立十周年記念「練馬区史」(昭和32年刊行)	第二節 村の状態 上練馬村 (323頁)	...農業経営は畑に依存していたが江戸の発展にともない、蔬菜供給地として、わけても名産練馬大根の名で知られるようになった。元禄年間(一七〇〇年前後)には「江都近郊最モ美ナル者...
3	練馬区独立十周年記念「練馬区史」(昭和32年刊行)	第二節 村の状態 下練馬村 (341頁)	...ここに当然相当に広範な蔬菜類の販売による商品貨幣経済の進展を想像することができる。練馬大根に限らず、銭にかえられるものは江戸の市場に持ちこまれたことであろう。新編武蔵風土...
4	練馬区独立十周年記念「練馬区史」(昭和32年刊行)	第二節 商業的農業の発展 (442頁)	...に草ぼうきに至るまで広範に販売されている。右のうち、大根はすでに元禄頃において「練馬大根」の名声をひろめた商品作物の本命ともいべきものであるが、ここで草ぼうきについて...
5	練馬区独立十周年記念「練馬区史」(昭和32年刊行)	第八章 幕末維新と練馬 (463頁)	...の発展にともない蔬菜供給地として貨幣経済の中に引き入れられていく時期である。また練馬大根の名称が天下に知られる時期でもある。元禄時代も綱吉の晩年になると、幕府の財政は窮...
6	練馬区独立十周年記念「練馬区史」(昭和32年刊行)	第六節 板橋区時代 一 市域へ編入の機運 (515頁)	...へク、鋭意努力ノ結果農業状況モ亦自ラ一変シ、穀菽蠶桑ノ業ハ蔬菜ト変リ、今ヤ西瓜及練馬大根ノ名産地トシテ、其ノ額多額ニ上リ、本村ノ主要産物トナレリ。以上にみたように、中新...
7	練馬区独立十周年記念「練馬区史」(昭和32年刊行)	第一節 明治大正の人口 (542頁)	...とはことなり、その増加の度は実に低いものであつた。毎日毎日を農耕にくらし、名物の練馬大根の作成ということに収入の望みが大きくかけられていた区内の各村々にとっては、特別に...
8	練馬区独立十周年記念「練馬区史」(昭和32年刊行)	第二節 明治時代の農業 (565頁)	...帯では葉菜類が主で、ねぎや菜類がその特産で、根菜類では根の短いものが通し、そこに練馬大根を代表とし、にんじん、ごぼうなどを特産とする練馬板橋地帯と根本的に相違を示してい...
9	練馬区独立十周年記念「練馬区史」(昭和32年刊行)	第二節 明治時代の農業 (568頁)	評を博した練馬大根の沢庵漬は、副業というより経済面では主力をなすものであつたようである。幕末の区内...
10	練馬区独立十周年記念「練馬区史」(昭和32年刊行)	第三節 大正時代の農業 (583頁)	...全力を傾倒するに至れるまた自然の勢なりとす。蔬菜中本村の特色にして天下に著聞せる練馬大根に関して、既に記載せり。(後略)この両村の特徴とするところが、あくまで東京市民の...
11	練馬区独立十周年記念「練馬区史」(昭和32年刊行)	第四節 震災後の変化 (587頁)	...長)ごぼう(滝ノ川)瓜陸蓼、里芋、らつきょう、結球白菜、玉蜀黍となつており、特に練馬大根採種が練馬町...

Copyright(C) 2017 Nerima City Public Library. All rights reserved.

検索結果の表示数、表示順を変更できます。

目次タイトルをクリックすると、該当するレコードの詳細情報を表示します。

表示方法を切り替えられます。
(→検索結果一覧画面Aへ)

〈検索結果一覧画面B〉

みどりの風吹くまち 独立70周年記念事業 練馬区歴史資料デジタルアーカイブ

練馬区独立70周年

トップページへもどる 更新日：2017/07/25 件数：6,130件 TOP

一覧+詳細 表示：50 表示順：昇順 指定なし 戻る 検索画面


1 - 35 / 35

このページを印刷

レコードNo.	A_kushi_1junenshi_1655
タイトル	練馬区独立十周年記念「練馬区史」(昭和32年刊行)
著者	練馬区
出版社	練馬区
出版年	1957
形態事項	1562p 22×16cm
資料画像閲覧	1junenshi/junenshi-honcho-1501.jpg 画像を表示する
ページ番号	1501
資料種別	本文
目次	練馬大根の歴史 (1501頁)
本文テキスト	練馬大根の歴史― 練馬大根の起源大根の起源についての、詳しいことはわからないが、古いところでは「日本書紀」の中で、仁徳天皇が皇后、磐の媛におくつた歌にてでくる。 つぎねふ 山背女やましろめの 木鍬こくわ持ち 打ちし大根おほね さわさわに 汝が言へせこそ うち渡す やがはえなす 来入り参来れつぎねふ 山背女の 木鍬持ち打ちし大根 根白の 白臂ただむき纏まかづけばこそ 知らずとも云わぬ(巻十一 仁徳天皇紀)
本文テキスト閲覧	text_1junenshi/junenshi_honcho5.xhtml#honcho_page1501 HTMLで表示する

Copyright(C) 2017 Nerima City Public Library. All rights reserved.

検索結果一覧と詳細表示画面を
一画面に表示できます。



独立70周年記念事業 練馬区歴史資料デジタルアーカイブ

練馬区独立70周年

トップページへもどる

更新日：2017/07/25 件数：6,130件 TOP

No. 2 (全78件) 検索画面 戻る 一覧

このページを印刷

レコードNo.	A_kushi_1junenshi_0387
タイトル	練馬区独立十周年記念「練馬区史」(昭和32年刊行)
著者	練馬区
出版社	練馬区
出版年	1957
形態事項	1562p 22×16cm
資料画像閲覧	1junenshi/junenshi-honcho-0323.jpg 🖼️ 画像を表示する
ページ番号	323
資料種別	本文
目次	第二節 村の状態 上練馬村 (323頁)
本文テキスト	<p>の農業経営は畑に依存していたが江戸の発展にともない、蔬菜供給地として、わけでも名産練馬大根の名で知られるようになった。元禄年間(一七〇〇年前後)には「江都近郊最モ美ナル者ノ多シ就中根利間ネリマ板橋浦和ノ産為シ勝タリト」(本朝食鑑)と記されている。また寛政年間古河古松軒はこの地を視察して「練馬村産物大根を以て上品とす。備按に世に尾張大根を称善す。然れども大いなるというのみにて味い美ならず、此地の大根は味ひ至てよく、且大い也。大根においては日本第一といふべし」(四神地名録)と練馬大根をたたえている。上練馬村の概況は、嘉永三年(一八五〇)・安政七年(一八六〇)両年の村方明細書上帳(長谷川文書)に詳しい。また上練馬村丑之御繩打高組帳というものがあり(長谷川文書)、これによつて延宝元年(一六七三)の村の状況がわかる。それによると、延宝の竹村与兵衛の検地当時の上練馬村の名主は、又兵衛という人で、彼の持高は、九二石八斗二合の多きを数えている。また寺は、愛染院 高拾石七斗三升壹石 養福寺 高六石六升七合寿福寺 〃五石五斗四升四合 円光院 〃三石三斗九升壹合高松寺 〃貳石八升壹合 泉蔵院 〃壹石壹斗四升貳合成就院 〃七斗八升以上七力寺が数えられ、二六二六石余の村高に対して、名主分と寺方分の八八石余は、諸役免除高であり、諸役を賦課される村役高は、二五三七石余であった。これを標準百石一組の高組に分けて、合計二五組の組を編成したのが、上練馬村之御繩打高組帳(長谷川文書)である。この百石組は、</p>
本文テキスト閲覧	text_1junenshi/junenshi_honcho2.xhtml#honcho_page323 📄 HTMLで表示する

Copyright(C) 2017 Nerima City Public Library. All rights reserved.

「画像を表示する」をクリックすると、該当する資料の画像閲覧画面に遷移します。

「HTMLで表示する」をクリックすると、該当するテキスト閲覧画面に遷移します。

〈画像閲覧画面〉

※別ウィンドウ、またはタブで開きます

The screenshot shows a digital image viewer interface. At the top, there is a green header with a '画像表示' (Image Display) button, a page indicator '34/35', and a close button '×閉じる'. Below the header, the left sidebar contains a table of contents with entries like '練馬大根の歴史 (1501頁)' and '千川上水の歴史 (1511頁)'. The main area displays a page of text from a book, with a zoom level of '32%' and navigation icons. Callouts provide instructions: '画像を拡大・縮小します。' (Zoom in/out), '画像を90度回転します。' (Rotate 90 degrees), 'プルダウンで切り替えると、同一資料内の他の目次一覧に遷移します。' (Switch with dropdown to other TOC), and '次のページへ遷移します。' (Move to next page).

画像を拡大・縮小します。

画像を90度回転します。

×閉じる

34/35

画像表示

練馬区独立十周年記念「練馬区史」(昭和32年刊行)

第二節 民謡 区内指定文化財…

第五編 補説

練馬大根の歴史

練馬大根の歴史 (1501頁)

練馬大根の歴史 (1502頁)

練馬大根の歴史 (1503頁)

練馬大根の歴史 (1504頁)

練馬大根の歴史 (1505頁)

練馬大根の歴史 (1506頁)

練馬大根の歴史 (1507頁)

練馬大根の歴史 (1508頁)

練馬大根の歴史 (1509頁)

練馬大根の歴史 (1510頁)

練馬大根の歴史 (1510-1)

練馬大根の歴史 (1510-2)

練馬大根の歴史 (1510-3)

練馬大根の歴史 (1510-4)

千川上水の歴史

千川上水の歴史 (1511頁)

千川上水の歴史 (1512頁)

千川上水の歴史 (1513頁)

千川上水の歴史 (1514頁)

千川上水の歴史 (1515頁)

千川上水の歴史 (1516頁)

千川上水の歴史 (1517頁)

千川上水の歴史 (1518頁)

千川上水の歴史 (1519頁)

千川上水の歴史 (1520頁)

千川上水の歴史 (1521頁)

千川上水の歴史 (1522頁)

千川上水の歴史 (1523頁)

32%

二 天下の練馬大根

「大根の練馬」か「練馬の大根」かといわれる程の有名な練馬大根は、大天元祿期より盛んに栽培されるようになった。こうした練馬の発展の裏には大江戸の発展があった。当時、すでに人口百万をこえる大都市江戸の膨大な消費は、必然的に多量の物資の移動をうながした。米麦は、その最大のものであったが、蔬菜類は、新鮮度を要求する点からいって、江戸近郊農村に頼らねばならなかった。こうして練馬地方も江戸の需要にこたえる野菜類の供給地として発展していった。練馬大根が特産物として全国的に有名になつてくるのである。

総て存原部・豊嶋郡の土地は、一面の野地にて虚地なれ共、幸に糞水ありありて、何一つとして作り出さざるはなし。此辺只牛房によろしく風味よ。其外練馬村の大根・川崎領の芋のごときは皆其地に相応する物にして、他所の及ぶところにあらず。

―牛込・早稲田の南縁りの如き、若荷を頼て稱を作らざるにて知べし。惣て江戸近郊の百姓は、畑作を好んで田作を廃はず。

―又子住砂村辺の百姓は、もやし物を仕立て、三月節以前より瓜・茄・ささげを出す。袂へ入れて持出し是をひさく、得るところの銭主人にて持がたしといへり。(増補田圃類書)

早稲田村、中里村の茗荷、駒込辺から産する俗稱駒込茄子、四ツ谷、内藤新宿辺の村で作る内藤蕃椒とよばれた蕃椒等々いずれも江戸市民の賞美するところであった。

「新編武蔵風土記稿」では、豊嶋郡の項の産物に蘿蔔をとりあげている。

郡内練馬産多く産す、いずれも上品なり、其内練馬村内の産を尤上品とす、さればこの辺より産する物を概して練馬大根と呼ぶ。

第五編 補説 練馬大根の歴史

一五〇五

プルダウンで切り替えると、同一資料内の他の目次一覧に遷移します。

次のページへ遷移します。

目次をクリックすると、該当するページの画像に遷移します。

<テキスト閲覧画面>

※別ウィンドウ、またはタブで開きます

二 天下の練馬大根

「大根の練馬」か「練馬の大根」かといわれる程の有名をさせた練馬大根は、大体元禄期より盛んに栽培されるようになった。こうした練馬の発展の裏には大江戸の発展があつた。当時、すでに人口百万をこえる大都市江戸の膨大な消費は、必然的に多量の物資の移動をうながした。米麦は、その最大のものであつたが、蔬菜類は、新鮮度を要求する点からいつて、江戸近郊農村に頼らねばならなかつた。こうして練馬地方も江戸の需要にこたえる野菜類の供給地として発展していつた。練馬大根が特産物として全国的に有名になつてくるのである。

総て荏原郡・豊嶋郡の土地は、一面の野地にて虚地なれ共、幸に糞水余りありて、何一つとして作り出さざるはなし——此辺只牛房によろしく風味よし。其外練馬村の大根・川越領の芋のごときは皆其地に相応ずる物にして、他所の及ぶところにあらず。——牛込・早稲田の南緑りの如き、茗荷を植て稲を作らざるにて知べし。——惣て江戸近郷の百姓は、畑作を好で田作を悦ばず。——又千住砂村辺の百姓は、もやし物を仕立て、三月節句以前より瓜・茄・ささげを出す。袂へいれて持出しをひさぐ、得るところの銭乞人にて持がたしといへり。（増補田園類説）

早稲田村、中里村の名 ^{みょうが} 荷、駒込辺から産する俗称駒込茄子、四ツ谷、内藤新宿辺の村で作る内藤蕃椒とよばれた蕃 ^{とうがらし} 椒等々いずれも江戸市民の賞美するところであつた。

「新編武蔵風土記稿」では、豊嶋郡の項の産物に蘿 ^{だいこん} 蔔をとりあげている。

郡内練馬辺多く産す、いずれも上品なり、其内練馬村内の産を尤上品とす、さればこの辺より産する物を概して練馬大根と呼、人々賞美せり。

このほかにも「近郊練馬清水村のもの、その名四方に知られたり」（古今要覧稿）とか「末服には根極めて大なる有り。尾州宮重及び武州練馬等の産是なり」（経済要録）というように江戸時代の書物に載せられている。

[画像を表示](#)

ここで「天下の練馬大根」ふりを少々紹介しておこう。寛政年間に江戸近郊の農村の風土を視察した古河古松軒は、大要次のようにほめている。

練馬村産物大根を以て上品とす。僕按に世に尾張大根を称賞す。然れども大いなるといふのみにて味ひ美ならず。此地の大根は味ひ至てよく、且大ひ也。大根においては日本第一といふべし。

よくもほめたものだが、質・量共に日本一と折紙をつけた。

昭和十五年に「練馬漬物組合」によつて、春日町一丁目愛染院の門前に「練馬大根の碑」が建てられた。

練馬大根碑

柴田 常恵撰

蔬菜は、人生一日も欠き難き必須の食品たり。特に大根は滋味豊潤にして、栄養に秀で、久しきに保ちて替る所なく、煮沸干燥或は生食して、各種の調理に適す。若し夫れ、沢庵漬に到りては、通歳尽くるを知らず、効用の甚大なる蔬菜の首位を占む。

今や声譽由外に高き我が練馬大根は、由来甚だ久しく、徳川將軍綱吉が館林城主右馬頭たりし時、宮重の種子を尾張に取り、練馬

クリックすると、図版画像が拡大表示されます。